

環境税

慶良間諸島を美しく保つための税

暮らしと税

慶良間諸島を訪ねる人は全員、100 円の環境税を支払わなくてはなりません。船や飛行機の運賃に自動的に加算されるこの税金は、座間味の島々では「美ら島税」、渡嘉敷島では「環境目的税」と呼ばれます。名称が示すように、集められた資金は観光施設の保全・維持・修理に使われます。つまり、花や低木の植栽、展望台の周囲の草刈り、公衆トイレの清掃そして、港やビーチの美化に使われるということです。

海洋プラスチック

慶良間諸島のように牧歌的である場所も、海洋プラスチックの呪いからは逃れられません。世界の海洋には推定 1 億 5,000 万トンのプラスチック廃棄物が含まれており、さらにその量は毎年 800 万トンずつ増加しています。プラスチックは海洋ゴミの 5 分の 4 を占めており、海洋生物に害を与え（例えば、プラスチックは 100% のウミガメの体内で見つかっています）、やがて人間の食物連鎖に入り込みます。慶良間諸島のビーチにあるプラスチック廃棄物は、ウミガメの産卵能力を阻害します。

慶良間諸島のビーチで見かけたペットボトルを拾ったり、地元の当局が主催する清掃日に参加したりすることで、あなたも役に立えます。プラスチックは太陽光と海によってマイクロプラスチック（大きさ 5 mm 未満）、またはナノプラスチック（大きさ 100 nm 未満）に分解される前に回収しなくてはなりません。慶良間諸島の当局は、プラスチック廃棄物に対して積極的な対策をとろうとしており、使い捨てのペットボトルを使わないですむ方法を模索しています。何度も使える飲み水用の容器を自分で島に持ってくることで、あなたも島の環境保全に貢献できます。

慶良間諸島の環境問題は海洋プラスチックだけではありません。島々は慢性的な水不足の問題も抱えているので、シャワーを浴びたりダイビング用品を洗ったりするときは、できるだけ最低限の水を使うようにしてください。

サンゴを大切に

慶良間諸島を特別な場所に行っているのはサンゴ礁です。サンゴは生き物です。踏んだり蹴ったりすると、死んでしまいます。フィンを使ってシュノーケリングをしている時は、いつもより足が長くなっているのを誤ってサンゴと接触してしまうかもしれないということを忘れないでください。サンゴの上の水面近くを泳ぐときは特に気を付けましょう。写真、特にセルフィーを撮るのが好きな人は、**写真を撮る前に**周囲の環境に注意を払い、立つ場所にはサンゴのいない安全なスポットを選んでください。